

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

安倍首相が25日の会見で、臨時国会の冒頭で衆議院を解散させ、総選挙を行うと表明しました。なぜ国会を解散するのか。それは、国会で「加計・森友疑惑」などを追及されるのを恐れて、疑惑を隠し通そうと考えているからです。日本共産党など野党4党は、3か月も前から憲法53条に基づいて臨時国会の召集を求めています。その要求を無視し続けた上、国会の召集を決めたら審議もせずに解散するなど、自分を守るためだけに憲法を踏みじむ、とんでもないやり方です。臨時国会に関係者を呼んで、議論を尽くして、疑惑を徹底的に明らかにした上で、国民の審判を仰ぐべきではないでしょうか。

みなさん

安倍首相は消費税を10%に上げる、それを教育や子育てに使うと言いました。しかし、所得の低い人ほど負担が重くなる消費税は最悪の不公平税制であり、日本共産党はこの消費税に頼ることにキツパリ反対しています。しかも、私たち国民の願いに反して教育予算を抑え、主要国で最低レベルの予算しかつけてこなかったのは、他ならぬ自民党政権ではないでしょうか。消費税を8%に上げた時も「社会保障の充実」と言いながら、実際には社会保障の自然増は毎年数千億円も削られ、家計を壊された国民は苦しめられています。消費税10%を押し付けるために、国民の切実な願いを人質に取るやり方は、もう絶対に許されません。負担を求めるべき相手は庶民ではありません。アベノミクスで大儲けした大企業や富裕層にこそ、税の負担を求めるべきではないでしょうか。

みなさん

安倍政権は憲法を壊し、政治を好き放題にしてきた結果、東京都議選で惨敗するなど、大きな批判にさらされています。今回の総選挙は、その安倍政権を退場させる歴史的なチャンスです。それには、野党と市民の共闘が必要です。2年前の安保法制Ⅱ戦争法に反対して、市民と野党の共闘が始まりました。今こそこの共闘の力を十分に発揮して、安倍政権を倒そうではありませんか。そして、平和と憲法と民主主義を守る、新しい政治を始めようではありませんか。

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、日刊紙はひと月3497円、日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます、この場での訴えとさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。